学校番号	３１０

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	歴史総合（東京書籍）						
副教材等	ダイアローグ歴史総合　2026（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合では近現代史を日本史・世界史の両視点から学習していく。歴史とは単なる事実の暗記ではなく、その事実をどのような根拠にどう解釈したのかという点が重要になってくる。
そのため、歴史総合では歴史的事実だけでなく、その事件が起きた背景やその事件が与えた影響について写真や史料等を通じて考えていきたい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・近現代を学ぶことで現代社会における諸問題の背景を知り、より理解を深めていく。
・社会に出ていく上での人文科学分野として身に付けるべき教養を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・歴史を学ぶことそのものの意義を理解する。
・歴史を学ぶことで日本や多文化に対する理解を深め、自分と異なる価値観の人々を受け入れいけるような寛容性を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に活用する技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に判断したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に学ぼうとする態度や，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重しようとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化と私たち	序章 歴史の扉 1節歴史と私たち 2節歴史の特質と資料 第1章　近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成 3節 世界の一体化と多様な近代化 4節 近代化と現代的な諸課題	以下(a) ・18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治や経済の変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界市場の形成や近代社会の形成を理解する。 ・産業革命の影響、立憲制の広まりなどに着目して、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化や立憲制の世界的な広まりを理解する。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 以下(b) ・18 世紀の東アジア諸国が、それぞれどのように発展していったのかについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・18 世紀のヨーロッパとアジアとの間の交易がどのようなもの	定期考査小テストなど	定期考査レポートプリントノートグループワークなど	レポートプリントノートグループワークなど

			であったのかについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・19 世紀の東アジアが、不平等条約の締結によって、西欧諸国とどのように関わり、どのように変化していったのかについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・20 世紀初めの帝国主義に対する批判の動きや、その当時の国際関係の再編について、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 以下(c) ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			

2学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会 3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	以下(a) ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 以下(b) ・第一次世界大戦において出現した総力戦体制とはどのようなものだったのかについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。第一次世界大戦後のアジアの経済がどのよう	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など

			に発展し、どのような人の移動があったのかについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・国際協調体制の動揺の中で、アジア・アフリカ諸国の人々がどのように自立化を模索し、大衆運動を活発化させていったのかについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第二次世界大戦がどのように始まり、どのように拡大したか、また、日中戦争やアジア太平洋戦争とどのように結び付いたのかについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 以下(c) ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に 取り組む。			

3学期	グローバル化と私たち	第3章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済 3説 秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	<u>以下(a)</u> ・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用し、グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 ・アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。 <u>以下(b)</u> ・冷戦が拡大しながらも共存していく過程や、その中でアジア・アフリカ諸国に独自の動きが現れたことについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・米ソ両国の核開発競争と宇宙開発競争の展開と、キューバ危機	定期考査 小テスト など	定期考査 レポート プリント ノート グループワーク など	レポート プリント ノート グループワーク など

			をきっかけとした核兵器管理体制への転換について、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・アジア・アフリカで植民地が次々に独立したが、さまざまな要因により地域紛争が頻発したことについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・経済的な発展をとげた先進諸国において、物質的な豊かさをはじめとした近代的な価値観が見直されるようになり、新たな価値観に基づいたさまざまな運動が起こったことについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・冷戦の終結に向かったアメリカとソ連、およびヨーロッパ諸国の動きと、東アジアにおける分断状況の継続について、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・冷戦終結後、旧東側陣営や中東を中心に起きた地域紛争や、各地の紛争解決に向けての国際連合やアメリカ合衆国、日本などの動きについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・冷戦終結後にさまざまなものが国境を越えるようになり、グローバル化が進んだだけでなく、地域統合が進展したことについて、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現する。 <u>以下(c)</u> ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度